

## 〈農地の相続等の届出のお願い〉

農地を相続したときは……

**農業委員会に届出**

をお願いします



農地の権利を、相続など農地法の許可を要しないで取得した場合は、農業委員会への届出が必要です。

○届出が必要な権利取得

・相続、遺産分割、時効取得、法人の合併、分割等

○提出の期限

・権利取得を知った日から概ね10か月以内

○留意事項

・この届出によって、農地の権利の効力が発生するものではありません。また、実際の相続に影響があるものではありません。

手続きは簡単です。「農地法第3条の3第1項の規定による届出書」を農業委員会窓口までご提出ください。

ご不明な点は、下記問い合わせ先までご連絡ください。



問合せ及び提出先 八百津町農業委員会事務局  
(八百津町役場 農林課内)

電話：0574-43-2111 (内線2332)

記入例

農地法第3条の3の規定による届出書

令和〇年 〇月 〇日

八百津町農業委員会 会長 様

住所 〇〇町〇〇 〇〇〇-〇〇

氏名 〇〇〇 〇〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

下記農地（採草放牧地）について、 相続  その他 により  所有権  その他 を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

記

1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

Table with columns: 氏名, 住所, 国籍等, 在留資格又は特別永住者. Content: 同上, 同上,  日本.

権利を取得した者が届出人と同一の場合、「同上」でも可

2 届出に係る土地の所在等

Table with columns: 所在・地番, 地目 (登記簿, 現況), 面積(m²), 備考. Content: 別紙のとおり.

※前所有者に係る農地全ての場合は○を付ける→ ( )

固定資産税の「名寄帳」の写し等を添付 土地が少なければ表への記載でも可

3 権利を取得した日

令和〇年 〇月 〇日

相続の場合、被相続人の死亡年月日

4 権利を取得した事由

- ( 〇〇〇 〇〇〇 ) 死亡による相続
 その他 ( )

所有権以外の権利(賃借権)などがある場合は、「その他」に  ( ) に内容を記載

5 取得した権利の種類及び内容

- 所有権
 その他 ( )

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

- 有
 無

農地の利用見込みがなく、農業者へ農地の紹介を希望する場合は「有」に  (必ずご紹介できるわけではありません)

農地法第3条の3の規定による届出書

年 月 日

八百津町農業委員会 会長 様

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

下記農地（採草放牧地）について、  
 3条の3の規定により届け出ます。  
 {  相続  
    その他 } により {  所有権  
    その他 } を取得したので、農地法第

記

1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

氏名	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
		<input type="checkbox"/> 日本	

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	備考
	登記簿	現況		

※前所有者に係る農地全ての場合は○を付ける→ ( )

3 権利を取得した日

年 月 日

4 権利を取得した事由

- ( ) 死亡による相続  
 その他 ( )

5 取得した権利の種類及び内容

- 所有権  
 その他 ( )

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

- 有  
 無

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 3 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
- 4 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。また、記の1の「権利を取得した者の氏名等」は必要に応じ、行を追加をしてください。
- 5 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 6 記の4の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む。）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 7 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。また、共有物として農地又は採草放牧地の権利を取得した場合であつて、届出者以外にも共有者がいるときは、その人数を記載してください。なお、人数がわからない場合は、その旨を記載してください。
- 8 記の6の「農業委員会によるあつせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあつせん等を希望するかどうかを記載してください。